

①菅原神社



水田地帯を抜けた先に佇む本殿と手水舎のみの小さな神社。神主に話を聞くことは出来なかったが、菅原道真によって建立されたのではないかと考察する。

②水神様



川の橋の下の多くに水神様が守護されていた。水神様は、清潔な水と不潔な排水を見守っているとされる。

③太陽光パネル ④低すぎるカーブミラー



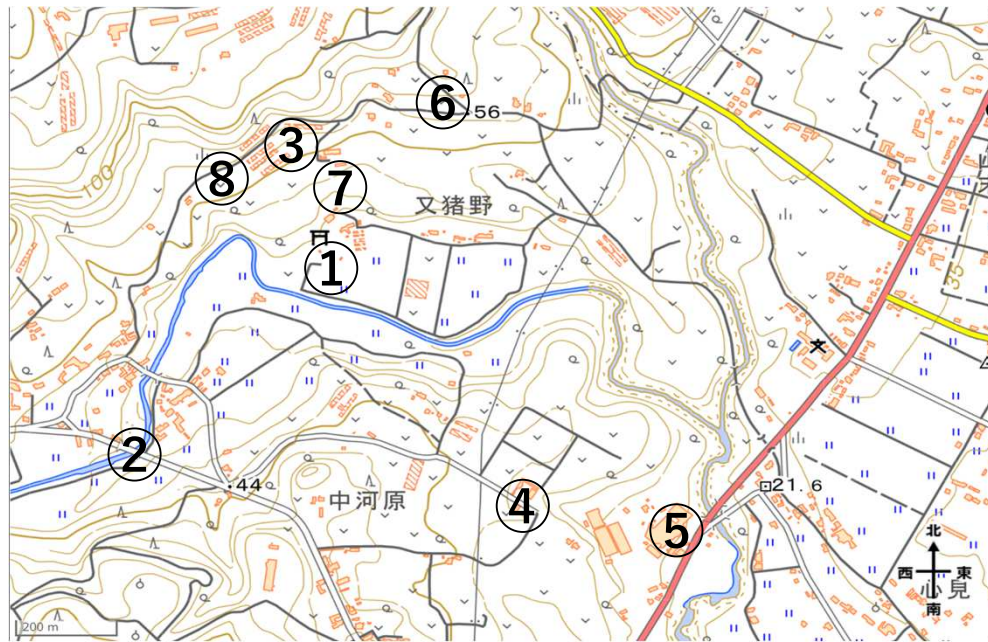
山を削って設置したのかもしれない。比較的新しくった。他にも山を削っているところがあった。景観が損なわれないだろうか。



近くの方が設置したカーブミラー どうしてこんなに低いのか坂道があったからだろうか。



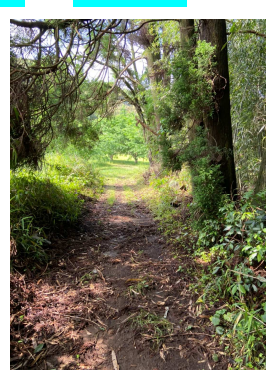
⑤ (株) 原田鉄筋工業加工センター



⑥山陰百姓逃散一揆留置之碑

⑦山道

⑧地層



株式会社原田の加工センター。元禄時代、天災に加え延岡藩役員の悪政に耐えかねた百姓29世帯が又猪野に逃散したが、拘束され、79名の一揆首謀者が処罰された。その逃散百姓を供養するために建立された。

菅原神社と養鶏場を繋ぐ小道。一度通ると引き返せない程、急傾斜の坂道。

地域の方のお話によると、阿蘇山と桜島の噴火によってできたものらしい。綺麗に層に分かれていた。

4班 まとめ

東都農町は歴史と現在が混ざり合う素晴らしい地域であった。現代の資源は、どの場所もとても広く大きい土地だと感じた。広大な土地を活かして新たなエネルギーや資源を生み出している。今回都農町に行き絶対にネットだけでは見つけれられないような事を調査することができた。また、地元の人に聞くことがその土地を知る上での大切なことだと気付くことができた。今回のようにその土地のことを詳しく調べるときにはネットや本で調べ、そのあとに現地に足を運び調べるようにしていきたい。

地域の方との交流

畑で農作業をしている方にお話を伺った。その方は、とても博識な方でこの地域の人たちは農業や畜産が主な仕事だということや農家では後継ぎがないことなどを話してくださった。話の中で「どんどん質問してたくさん勉強しなさい。」という言葉が印象に残り、もっと積極的に頑張ろうと思った。(下写真)その方が、自分の畑で獲れた野菜を分けてくださった。

ありがとうございます!!! (^ ^)

